

生徒指導だより

令和4年10月3日

市川市立第八中学校生活部

今月の目標

○行事を通し、クラスのまとまりを高めよう！

○年度後半に向けての目標を持とう！

協力体制をつくりましょう！

10月は2年校外学習、鶴風祭があります。鶴風祭は今年、文化会館の大ホールで行われます。クラス内で協力すること、自分自身の我を抑えることなどが必要になってくるに違いありません。合唱についていえば自分自身が学級の一員として、どんな協力ができるのかをしっかりと考えて、活動してほしいと思います。毎年、この時期はクラス内での「もめごと」が多くなる時期です。「〇〇君が全然声を出してくれません」「〇〇さんが意見を聞いてくれず、自分勝手に練習を進めて困ります」などの声が聞こえてくる時期です。こういった「もめごと」もクラスの団結をより強くするための機会であるという考え方もありますが、「もめごと」を回避したうえで団結力が強まれば、それにこしたことはないのです。協力体制を作るにはどうすればよいのでしょうか？大切なのは合唱に対して自分自身、何ができるのかをまず考えることです。クラスの中には歌うことが得意な人、歌うことが苦手な人、歌うことが好きな人、大きな声を出すことが恥ずかしい人など様々な人がいます。しかし、どんな人でも決められた練習時間の中で、自分自身ができることは必ずあります。自分が行わなければいけないことを知ることが、練習に対する意欲となっていきます。一人では小さな力かもしれませんが、小さな力を集合させれば全体の力が何倍も大きくなることはいうまでもありません。そんな合唱にしてみませんか。

上記のことは、合唱だけにあてはまることではありません。どんなことに対しても、自分自身は何ができるのかを考えて行動すれば、素晴らしい集団になります。そして、目の前にある課題を解決する力を発揮できる集団になるのです。何事にも、協力できる「仲間」になってくれることを期待しています。

校則について！！

ここ1～2年で校則については多くの項目を見直してきました。今年度は生徒会本部の生徒も加わっていくつかの項目の変更を行いました。それに満足することなく11月に学級で校則についての話し合いを行い、意見を吸い上げて生活部会で検討し、職員会議に提出したいと考えています。皆さんが高校入試等の際に不利益を被らないようにということが重要になってくると思いますのでみんなから上がった意見がすべて通るとは限りませんが、なるべく多くの意見に対して対応していきたいと考えています。各個人の意見をしっかり持ってクラス討議に向かうようにしてほしいと思います。